

# 市民会議

2022/05 起案版 P.白いつばさ：櫻井

## ■ 天空のスポーツスマートシティー構想（骨子）

（菅平・峰の原高原 アスリートファーストを基軸としたスポーツシティーへ）

→ 地域全体最適へ（骨子）

### 目次

1. 地域と日本の課題
  2. 菅平・峰の原高原（地域）の特徴
  3. 地域の強みと弱み
  4. 地域の現状と今後の方向性
  5. 地域の“目指す姿”
  6. 目標 経済効果
  7. 協力が必要な組織・団体
- \* 具体的な施策

# 1. 地域と日本の課題

【キーワード】 地球温暖化／疫病（コロナ）／災害列島／ウクライナ侵略／物価高騰／SCM 等

## 地域・地方

### 【直接のキーワード】

自然エネルギー化／テレワーク／避難所／地産地消  
／SCM／省エネ対策

### 国と地方の連携

- ① 地方創生（内閣府）
- ② 地域観光事業支援（国交省）
- ③ デジタル田園都市国家構想推進（内閣府）
- ④ スポーツによる地域・経済の活性化（スポーツ庁）

## 内閣府の経済支援

- ① 家計支援・消費喚起
- ② 事業者支援、投資促進
- ③ 医療提供体制強化等 感染防止対策
- ④ 公共投資
- ⑤ その他の地方公共団体等を通じた支援

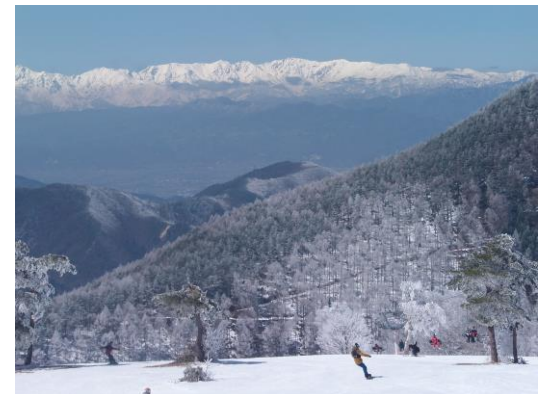
令和3年度補正予算で新たに創設

地方活性化（地方創生テレワーク 他）

## 2. 菅平・峰の原高原（地域）の特徴

世界に羽ばたくアスリートを育成する為の自然環境が最適 ！

- 標高1,200～1,600mの準高地に広大な平坦地を有する。
- 標高が高く温暖化が進みずらくスポーツ合宿に最適。
- 四季が明確で1年を通し、自然体験と様々なスポーツが楽しめる。
- 首都圏から約350Kmで交通網が発達している。
- 岩盤が強く災害（地震・津波・噴火・水害 等）がほとんど無く安全な地である。



### 3. 地域の強みと弱み

#### 強み

- スポーツ施設（108面のグラウンド、陸上競技場、クロカン場、テニス場、スキー場）が充実。
- 1年を通しスポーツ大会・イベントが盛ん。
- 8年前頃から陸上の合宿が急増。
- 標高が高く温暖化が進みずらく又、災害がほとんど無い。
- 四季折々の美味しく・安全な食材が豊富である。

#### 弱み

- 少子高齢化で後継者不足で廃業する宿が増えた。
- コロナ禍で経営が困窮する宿が増加した。
- 顧客が夏と冬に集中し、閑散期が約4カ月発生
- アスリートを育てる為の公共施設（筋トレジム、プール、トレーナー室、ケア風呂等）が無く地域の経済成長が足踏み。（この地の長所を生かしきれていない）
- 地域一帯（菅平・峰の原区）の共有する夢・目標が無く連携が取れていない。
- 本土で一番寒い

## 4. 地域の現状と今後の方向性

### ① 地域の現状

ここ3年間のコロナ禍でスポーツ合宿、一般客 等の激減で困窮する宿が増加、生活様式も多様化し、テレワーク需要が急増中である。地域のスポーツ施設に於いても大会開催会場や練習グラウンドが多く、**本来アスリート養成に最も重要となる『トレーニングジム・プール・大浴場 等』の公共施設が無く『安定した集客』と『集客の急増』が望めないのが現状である。**

現在 政府（内閣府）からの地方創生臨時交付金 等を利用して頂き、地域（菅平・峰の原）を挙げて真剣に検討・具現化する必要があると考える。…ピンチ⇒チャンスへ

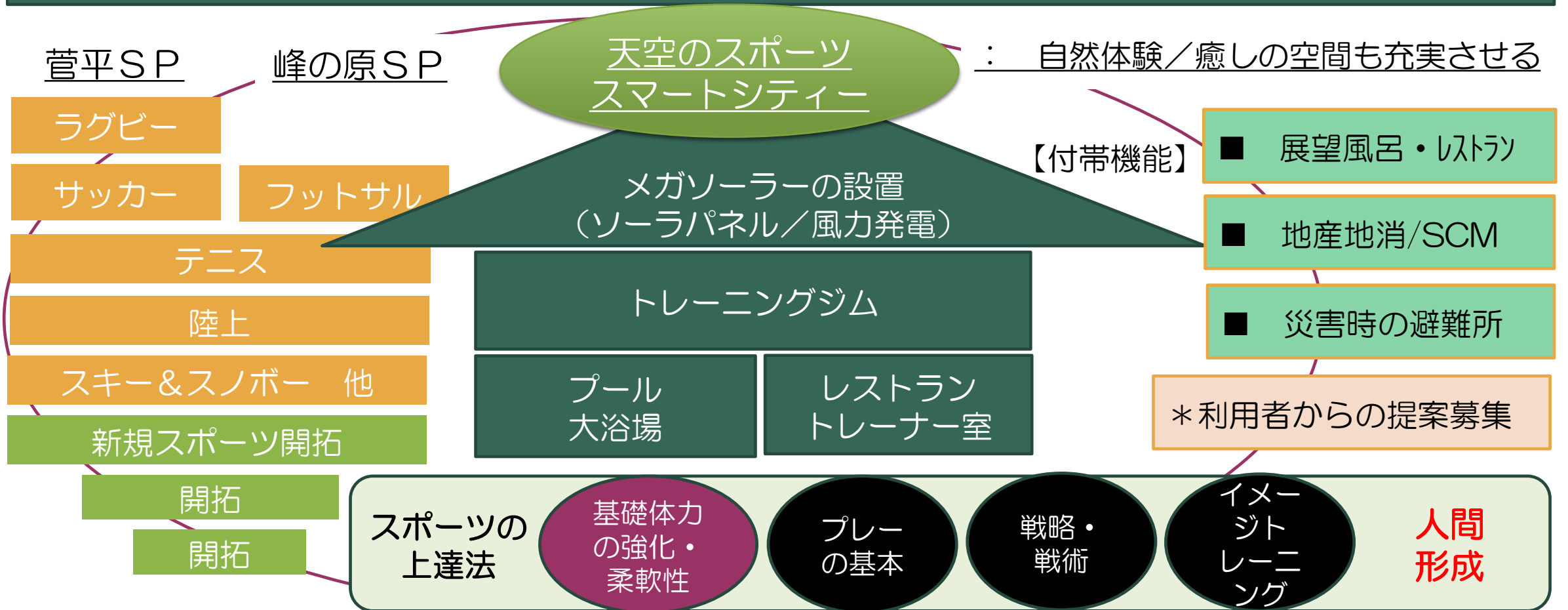
### ② 今後の方向性

- 魅力ある合宿地 : 次世代（50年～100年先）に残せる地域づくり  
公共の『トレーニングジム・プール・展望大浴場』を新設。
- 考慮する施設 : ① 災害に強い『スマートシティ』の実現（ソーラーパネル・風力等）  
仕組みづくり ② 万が一の災害時、避難所として対応できる施設  
③ 一般客も利用出来る『終日レストラン』『癒しの空間づくり』  
④ 地元の美味しく・安全な食材を提供する為のSCM体制づくり

\* 必要に応じ『クラウドファンディング』を検討。（設備の維持管理と固定客確保の為）

## 5. 地域の“目指すべき姿”

- 天空のスポーツスマートシティ構想 ⇒ 国内・世界に発信  
(アスリートファーストを基軸としたスポーツシティ他へ) 【場所：青年家跡地】



## 6. 目標 経済効果

(1年を通し、様々なスポーツ合宿を受入れる体制づくり)

起案施設の稼働により年間を通して様々なスポーツアスリート及び予備軍を集客。

集客≫ 現状の『2～3倍の集客』を目指す。

雇用≫ 現状の『2～3倍の雇用』を創出する。

配慮≫ 省エネ化/疫病対策/テレワーク環境/地域経済の発展(地産地消)/自然体験/避難所対応

## 7. 協力が必要な組織・団体

- 地区 : 峰の原観光協会、菅平観光協会
- 市 : 須坂市、上田市等の関係課
- 県 : 長野県観光協会
- 各省庁 : 内閣府、経済産業省、国交省、スポーツ庁 等
- 団体 : スポーツ団体(企業、大学、高校、スポーツクラブ 等)  
その他協賛・賛助企業及び組織

- 具体的な施策は、必要に応じ別途作成。
- この提案を進めるには、  
『プロジェクトチームの設置』が必要。